

国際ランド&ディベロップメントが設計・施工 鹿児島空港ヘリコプター格納庫屋上の太陽光発電施設が発電開始

グリーン・コミュニティの実現を目指す日本アジアグループ傘下の国際ランド&ディベロップメント株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金丸 直幹、以下「国際L&D」)が設計・施工を担当した鹿児島空港内のヘリコプター用格納庫屋上設置の太陽光発電施設が完成し、発電を開始いたしました。

本施設は、空港施設株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:丸山 博)様が鹿児島空港内に所有する格納庫2棟と物流倉庫1棟の建替えにあわせて建物の屋根に太陽光発電システムを設置し、全量買取制度を利用して売電を行うもので、国際L&Dが企画・設計の段階から事業提案し、施工も含めて担当したものです。出力は約0.39MWで、年間発電量は一般家庭の電力消費量約110世帯※に相当する規模となります。国際L&Dは、今後も本施設のO&M(維持管理)業務を担当してまいります。

国際L&Dは、不動産事業に環境・太陽光発電事業を組み込んだ「グリーンプロパティ」サービスの提供を通じて、安全・安心で災害に強いまちづくり、地域社会やお客様の資産価値向上と環境価値の創出に取り組んでいます。

※住宅に設置する太陽光発電システムの平均設置容量:3.0~3.5Kw(当社調べ)

■太陽光発電システムの概要

所在地	鹿児島県霧島市溝辺町(鹿児島空港内)
事業主	空港施設株式会社
設計・施工	国際ランド&ディベロップメント株式会社
想定出力	約0.3MW
想定年間発電量	約305,132kWh(初年度)
パネル種類	単結晶
パネル枚数	1,200枚
稼働時期	平成26年6月



【国際ランド&ディベロップメント株式会社について】 <http://www.kld.co.jp/>

国際ランド&ディベロップメント株式会社は、その前身である国際航業株式会社の不動産事業部門として 1947年の創業以来、67年間にわたり不動産の開発・運営管理、環境対策、住宅供給などの事業を国内外で実施してきました。

近年は、従来の不動産サービスに加え、再生可能エネルギーの活用、省エネ・蓄エネといったエネルギーソリューションサービスを提供し、低炭素社会の実現に向けた総合的な取組みを「グリーンプロパティ」と定義しサービスを拡大しています。

特に再生可能エネルギー活用分野においては、太陽光発電システム導入のシステムインテグレーターとして、オーナーや事業主の立場にたった総括的な視点から、企画・建設（EPC）・運営管理（O&M）の業務をワンストップで提供しています。

【名 称】 国際ランド&ディベロップメント株式会社

【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町 2 番地

【資 本 金】 1 億円

【業 務 内 容】 不動産開発・賃貸、不動産・建設コンサルティング・設計・工事
アセットマネジメント・プロパティマネジメント
太陽光発電の導入支援・EPC・O&M、エネルギーソリューション

【事業に関するお問い合わせ先】

国際ランド&ディベロップメント株式会社 企画部 TEL 03-3262-6091 URL : <http://www.kld.co.jp/>